

宮城小男子A制覇

ハンドボール女子はリトルSUN's

新報児童
第39回
オリンピックピック
2019



クラブJr. 3位は宮城小だった。Aパート2部は那覇東Jr.が優勝した。

サウス1勝2敗④港川3敗
▽同2ブロック ①宮城3勝2敗
兼原3敗
▽同3ブロック ①浦添3勝2敗
浦城2勝1敗③当山1勝2敗④野高3敗
▽同4ブロック ①コザJr.3勝2敗②前田2勝1敗③天久1勝2敗

神 森	19	10	9	6	15
宮 城	21	10	11	4	7
前 田	23	9	9	9	17
コザJr.	23	9	9	9	17
神 森	16	6	6	6	15
浦 読	16	6	6	6	15

宮 城	21	10	11	4	7
コザJr.	22	12	10	9	18
▽同決勝					
宮 城	16	8	8	8	15
神 森	15	9	9	9	17

▽女子の部予選リーグブロック
①SUN's勝②当山1勝1敗③浦添敗
▽同2ブロック ①浦城2勝2敗
コザJr.勝敗③兼原2敗
▽同3ブロック ①八重瀬Jr.2勝②神森勝敗③サウス2敗
▽同4ブロック ①宮城2勝2敗②前田勝1敗③牧港2敗

八重瀬	10	4	6	3	9
SUN's	22	13	9	2	7
▽同準決勝					
前 田	12	16	16	7	9
宮 城	12	16	16	7	9
SUN's	22	13	9	2	7
神 森	22	13	9	2	7

▽同3位決定戦
宮 城 18 10 5 4 9 前 田
▽同決勝
SUN's 17 9 1 7 8 八重瀬
▽2部リーグ戦順位 ①那覇東
2勝②牧港1勝1敗③天願2敗

順位 ①神森2勝②浦城1勝1敗③仲西B1勝1敗④浦添2敗⑤2・3位は直接対決による
▽同2ブロック順位 ①読B
2勝②名護B2勝③当山B1
敗④前田B2敗⑤1・2位、3・4位はそれぞれ得失点差による
▽同3ブロック順位 ①コザB
2勝②宮城B2勝③内間B2敗④当山B2 2敗⑤1・2位、3・4位はそれぞれ得失点差による

▽男子の部予選リーグブロック
①神森3勝②前田2勝1敗③天久1勝2敗

▽リーグ戦1ブロック順位 ①八重瀬
宮城2勝②浦城1勝1敗③コザ2 2敗
▽同2ブロック順位 ①読合C
2勝②八重瀬C1勝1敗③前田C
2敗
▽同3ブロック順位 ①神森C
2勝②コザC1 1勝1敗③名護
C1勝敗④沢岬C敗⑤2・3
位は得失点差による

第39回新報児童オリンピックのハンドボール競技(主催・琉球新報社、県ハンドボール協会、特別協賛・琉球銀行、ほっともっと沖縄地区本部、沖縄コカ・コーラボトリング)は28日ANA ARENA 浦添(浦添市民体育館)で決勝トーナメントがあった。Aパートは男子で宮城小が23年ぶりに優勝し、女子は4年ぶりにリトルSUN'sが栄冠を手にした。男子2位は神森小、3位はコザクラJr.。女子2位は八重瀬



5点差をひっくり返す 宮城小、残り5分失点0

ハイライト
宮城立監督は「相手の速攻をどう防ぐか。前半は相手の良さを予測して守ることができた」と評価した。GKの好セーブもあり、同点で後半に入った。
しかし一転、後半はミスから3点連取されるも運動量も落ち、前半のように守備からパスをつなげると前を突き抜けた。(謝花史哲)

Aパート男子決勝は宮城小が最終盤に連続6得点で5点差をひっくり返し神森小に逆転勝ちした。7月の県大会で神森に大敗し、全国出場を逃したばかり。攻撃でチームを引っ張った外間優志は「前回負けて悔しい思いをした。勝つことができてうれし」と笑顔だった。
前半は競り合う展開。宮城立監督は「相手の速攻をどう防ぐか。前半は相手の良さを予測して守ることができた」と評価した。GKの好セーブもあり、同点で後半に入った。最後は外間が守備陣を引きつけ、サイドにパスをつなぎ逆転が決まった。
外間「ようやくサイドを広く使う攻撃がうまくいった。この展開をもっと増やしたい」と手応えを感じた。主将の鳩間瑠久は「まだ体力が課題。連続攻撃に磨きをかけ、次の大会でも勝ちたい」と前を突き抜けた。(謝花史哲)

ハンドボール女子決勝 リトルSUN'sー八重瀬クラブJr. 後半、力強いプレーでシュートを連発するリトルSUN'sの前盛静来



前半終盤、波に乗る リトルSUN's完勝

○…Aパート女子はリトルSUN'sが制した。前半はエースを起点にした攻撃が八重瀬クラブJr.に封じられ「やりたいことをやらせてもらえなかった」(具志堅翔監督)。点を取り合う我慢の時間が続いたが、終盤のタイムアウトで1対1からのプレーの展開を強く意識することを確認し、得点を重ねることに成功した。
前半を2点差で折り返した勢いは後半でも維持。司令塔の前盛静来からパスを送られる2人のエースが相手守備陣を引きつける役に徹し、再び前盛にボールを集めて得点につながる攻撃で一気に点差を引き離した。後半は守備も機能し、八重瀬クラブJr.に1得点しか許さなかった。7月の県大会も優勝し、全国大会が控える。主将の末吉乃愛は「最初は危ない内容だった。全国はさらに厳しい。我慢して自分たちのハンドができるようにしたい」と意気込んだ。